

あかねつ
シン・紅熱だいちゅー論会（白熱大討論会）

▶▶ キーワード ふるさとキャリア教育、地域イベント



取組概要

小学校6年生・中学生・高校生・地域住民・教職員等がテーマについて本音で語る会。
～「本音で語る」「他者の意見を尊重する」「他者の意見を聞く」「協力して解を見つける」～

活動の詳細・ポイント

経緯

- 「人前でも、勇気を出して自分の意見を言えるようになってほしい。」「自分の気持ち・考えを、周りの人に伝えられる人になってほしい。」という思いから始まった。
- 学校主導から始まった討論会を、学校運営協議会主導に変更。学校運営協議会地域部会を中心に討論会の準備を進める。また、中学生の意見を取り入れるため、熟議に生徒会執行部も加わることで協働して実施。
- R6年度は、討論テーマを児童・生徒から募集し、生徒会執行部で検討。
- 生徒会執行部と学校運営協議会は裏方となり、運営については実行委員を募り、実行委員のメンバーが討論会を運営。
- 以前は各立場の代表パネラーが討論するのがメインだったが、全員参加型の討論会に変更。

活動内容

- 小学6年生、中学生、高校生、地域住民、教職員がテーマに沿って討論を行う。
- 参加者が質問に対してYes/ No、ABCなどの選択肢から回答することで、当事者意識を持てるよう工夫。
R6テーマ：「校則って必要?」「生徒が校則をつくることはできるのか」「制服って必要?」「宿題って必要?」



● 成果・効果

- ・幅広い世代を越えて熟議することの良さを実感した。
- ・討論会を継続することで、子ども達の成長ぶりを感じることができる。

※中学生の討論会の満足度（肯定的意見）約98%

● 関係者の声（地域・保護者）

- ・大勢の前で意見が言える生徒が増えてきて素晴らしい。
- ・年々意見の内容が充実し、説得力のあるものになってきており、この会の積み上げを感じた。
- ・様々な立場の方の意見が聞けよかった。

● 活動データ

主催：学校運営協議会委員、生徒会執行部
協力者：小学校、中学校、高校生、教職員、地域住民、保護者など